

2010年(平成22年) 第1回 理事会議事録

日時:平成22年5月20日(木) 19:00~21:00

場所:一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所

出席理事:渡邊愼一 佐藤直樹 錠内広之 澤口勇 野々垣睦美 中西浩司 奥原孝幸 富山晋
木村修介 鈴木久義 机理恵 山路博文 作田浩行 原伸一 浅井憲義

委任理事:野本義則

出席監事:長谷川元

委任監事:清宮良昭

出席事務局員(書記):名古屋和茂、中尾聡子 その他:松本政悦(広報部班長)

<議長団の選出>

議長:渡邊愼一

副議長:佐藤直樹 錠内広之

議事録署名人:渡邊愼一、長谷川元、山路博文

1、配布資料

各部・委員会資料(詳細は省略)

2、回覧資料

・神奈川自助具工房チラシ

・「自立支援に向けた“作業”の捉え方とその評価・支援技術研修会」の冊子

3、各部、各委員会

【事務局】(澤口事務局長)

<報告事項>

1)平成22年度第2回定期総会

日時:平成22年4月18日(日)15:15~16:00

場所:神奈川県総合医療会館7階大講堂

議決権のある当正会員総数 1,467名

正会員の議決権の数(定款24条より) 正会員の3分の1以上の出席が必要

出席正会員数 99名 出席率は会員数の40%だった。

委任状数 492名

この議決権の総数 591名

総会は成立。第1号~第4号議案を審議。すべて承認。

2)総会時の特別講演会報告

藤原 茂先生(夢のみずうみ村 代表):「チャレンジ!作業療法の可能性」

中村春基先生(日本作業療法士協会 会長):「作業療法5カ年計画」

出席者数:115名(目標は150名)

予算:70万円 支出:433790円 残高:266210円

総会・講演会含め予算:70万円 支出:433790円 残高:266210円

対費用効果については後日報告する。

3)第20回日本臨床工学会(横浜)後援依頼 三役会にて承認

日時:5月22日(土)・23日(日)

場所:パシフィコ横浜会議センター

テーマ:臨床工学技士の存在意義を考える

4)第29回県病院学会第1回学術委員会出席者(県病院協会主催) 中西理事参加

- 日時：6月2日(水)午後4時30分より 場所：県総合医療会館4階
内容：学会開催日、学会テーマ、プログラム内容、ポスターチラシ等
- 5) 県OT士会都道府県連絡協議会総会出席者 澤口事務局長参加
日時：6月10日(木) 場所：仙台
- 6) 県立鶴見養護学校研究研修班より講師派遣依頼 長谷川監事に依頼済み
日時：8月5日(木) 9:30~11:30
場所：神奈川県立鶴見養護学校(要確認)
内容：「児童生徒の支援に際しての作業療法的視点の重要性について(仮称)」
対象：教員
- 7) その他
異動届の創設 実施の方向で継続審議
総会当日に他 SIG 団体とブッキングしていた件
今後総会広報を早期に行う
協会会員管理システムの項目・内容不足等の要望の有無
後日 ML で尋ねる

< 検討事項 >

- 1) 医療専門職連合会総会出席者の確認
日時：6月18日(金)
場所：県民サポートセンター18時半~
当会は総会議長を担当 参加者は個別に確認する
- 2) 第76回県病院協会総会後の懇親会の開催
日時：平成22年6月16日(水)午後5時30分より
場所：ホテルキャメロン5階「ジュビリー」 会長が参加
- 3) 部員の承認 金山 桂(横浜 YMCA 学院専門学校) 承認

【財務部】(野々垣理事)

< 報告事項 >

- 1) 会費納入について
4月23日、メール便にてコンビニ決済振込票発送。(1410通) 現在15%程入金済
広報をホームページ掲載依頼済み。納入期限は9月30日。7月末日(~8月中旬頃)までに納入が確認できない会員には、8月中に再度振込票の発送を行う予定。
- 2) 情報公開について
総会で予算・決算の承認を得たので、情報公開を行う
5月号の県士会ニュースに財産目録、平成21年度決算、監査報告、平成22年度予算を同封。手配済み。
定款に基づき、貸借対照表、損益計算書(平成22年3月31日付)をホームページに掲載依頼済み。
- 3) 平成22年度上半期活動費について
上半期分の活動費を4月23日に各部通帳へ振込済み。(不足する場合には、財務部まで連絡)

< 審議事項 >

平成22年度の法人税等予算を当初見込みで7万円とした。ところが、昨年度分の法人税等が542,000円あり、不足が発生している。納期が5月31日までのため、補正予算にて対応することが必要。補正予算 承認。後日公認会計士と関係者で今後の対応を協議する。

【福利部】(富山理事)

< 報告事項 >

1) 職場見学会について

第 1 回職場見学会

日時：平成 22 年 5 月 21 日(金) 19:00~20:00

場所：日本鋼管病院

講師：錠内広之先生

参加予定人数：18 名(定員 20 名) 参加者は、免許番号は 40,000 番台が多く 3~4 年目
終了後懇親会開催予定

見学会後、参加者にアンケートを実施すること

第 2 回職場見学会

日時：平成 22 年 7 月 9 日(金) 19:00~20:00

場所：汐田ヘルスクリニック

講師：三森夏穂先生

内容：通所リハ・重度認知症デイケアの見学、認知症の方へのアクティビティ・質問・悩み相談コーナー

定員：15 名

参加費：無料

終了後懇親会開催予定

5 月下旬よりチラシ・ウェブサイトにて広報開始していく。

2) 新入会員オリエンテーション&歓迎会について

日時：9 月 11 日(土) 現職者研修終了後約 1 時間程度 理事、役員は 16:30 集合

内容：県士会役員・理事の先生方の挨拶・紹介 新入会員の交流

終了後に懇親会開催予定

場所：横浜リハビリテーション専門学校

前年度同様パンフレットを作成し、配布する。(役員挨拶・各部の紹介など)

3) 倫理担当窓口の役割について

OT 協会倫理委員会より都道府県作業療法士会倫理担当窓口の役割について下記の内容で連絡があった。

倫理問題事例が倫理委員会から提供される際の窓口となり、それら事例を通して都道府県士会員に対して啓発・注意喚起を行う。

(既にこれまで 2 回、事例提供と啓発・注意喚起をお願いいたしました)

倫理担当窓口に寄せられた倫理問題及び収集された関連情報を、倫理委員会に提供する。飲酒運転などのような公になった事例に関する情報収集と、そのことに関連して生ずる都道府県士会の対応や動向について把握し連携する。

現在検討中の内容である

【社会保障制度対策委員会】(山路理事)

<報告事項>

1) e-learning について

作業療法士が知っておきたい社会保障制度シリーズを 2 回分アップした。

順次増やしていく予定である。(6 回/年予定)

2) 情報提供

日本作業療法士協会保険部からの情報を 2 回分掲載した。

3) 県士会員からの問い合わせ 4 件 解決済み

内訳

・精神科デイケアの食事提供の件について 3 件(内他県 2 件)

・精神科デイケアと精神科作業療法について 1 件

シェアできる内容は会員向けにニュースや HP を使用していく

4) 他機関との連携

厚生省関東信越厚生局神奈川支所と診療報酬についての情報提供を受けると共に今後の指導をお願いする。

【地域リハビリテーション部】(木村理事)

<報告事項>

1) パイロット事業について

講習会の日程

- ・平成22年7月17日(土) 国際医療福祉大学小田原校
- ・平成22年8月21日(土) あーすぷらざ(本郷台)
- ・平成22年9月4日(土) あじさい会館(相模原)

2) 広報紙への記事掲載

143号ニュースにパイロット事業の記事を掲載。チラシも1枚封入。

3) 地域リハ推進班「障害者団体の活動の広報」について

ウェブサイトにブログを立ち上げる準備中

(どのような活動をしているか逐一会員に情報発信していきたい)

4) 「自立支援に向けた“作業”の捉え方とその評価・支援技術研修会」の報告

別紙参照(3月にOT協会主催の研修会の資料)

今年度の日本OT学会および全国研修会でも行う予定

5) O T P T 合同訪問リハビリテーション研修会(仮)について

PT士会で詳細がまだ決まっておらず。情報待ち。

PT士会で訪問リハステーション設置に向け、管理者研修を行っている

6) 痰吸引の研修会について

当県士会で実施するかどうかについては、他県士会等の情報を見てから検討する

<審議事項>

1) 部員の承認 承認

- ・末吉 藍 氏(新戸塚病院)
- ・酒井 広樹 氏(ライフプラザ新緑)
- ・山道 三奈子 氏(ライフプラザ新緑)

2) 長期目標「県士会活動への全員参加」達成のためのスローガンの作成について

『+3min(プラススリーミニッツ)』(仮)

各会員が1日3分を目標に県士会活動に参加をすることをねらいとしている。

例) 県士会ウェブサイトを開覧する。

効果: ウェブサイトの閲覧数UP

情報伝達がスムーズに

サイト更新(情報発信)の意識化

事業の活性化

透明性のある運営の実現へ

県士会としては設けることを前提に、次回理事会までに事務局の審議事項としてあげる

【学会評議委員会】(原理事)

<報告事項>

「第13回神奈川県作業療法学会」について

日時: 2011年4月17日(日)

会場: 北里大学相模原キャンパス

テーマ: 「リハビリでMOTTOつながる心と手 ~人と生活をよくする作業療法~」

プログラム: 教育講演、一般演題(口述発表、ポスター)、機器展示、地域作業所の紹介・展示、その他

参加費：会員 2000 円

組織図：別紙参照

【教育部】(奥原理事)

<報告事項>

1) 研修会予定

現職者共通研修 *ウイリング横浜を予定 *講師、座長は未定

第1回：9月11日(土)・12日(日) 6テーマ

11日終了後福利部主催新入会員オリエンテーション&歓迎会

第2回：11月3日(水祝) 2テーマ

第3回：3月6日(日) 2テーマ(事例報告・事例検討)

現職者選択研修(身障、老年期) *詳細は未定

2011年1月23日(日) 2011年2月26日(土)

事例報告登録制度研修会 詳細は未定

OT協会学術部と合同開催

<検討事項>

1) 部員承認 承認

真崎有希(横浜リハビリテーション専門学校)

2) SIG団体登録申請に関して

団体名：神奈川県作業療法臨床研究会横浜 承認

規約、会員名簿、昨年度活動報告、役員の会費納入に関して、問題なし。

【広報部】(松本編集班長代読)

<報告事項>

1) 広報部班長会議開催 (H22.5.10)

昨年度事業の反省、今年度上期事業の確認を行う。

2) 広報支援活動

県士会ロゴマーク作成：今まで使われていたカモメマークを用いて正式な県士会ロゴマークを作成する。ニュースなどで会員へロゴマーク募集の告知 提案されたものを会員へアンケートなどを実施 理事会承認(確認) ロゴマーク決定と検討中

のぼり、ウインドブレーカーの作成：ロゴマーク決定後に作成

パイロット事業への協力：会議出席 チラシ作製、ニュース記事掲載

各部委員会の広報でニュースを活用する場合は「各部からのお知らせ」の手順を参照

県士会三つ折りパンフのリメイク終了。

3) ニュース編集班

22年度ニュース発行予定

号	発行月	掲載原稿 締め切り	封入チラシ 締め切り	主な記事
143	5月末	原稿校正作業中		学会・総会報告
144	7月末	6月10日	7月10日	
145	9月末	8月10日	9月10日	
146	11月末	10月10日	11月10日	
147	1月末	12月10日	1月10日	
148	3月末	2月10日	3月10日	総会案内

ニュース編集方針

ニュース編集は1班体制で継続 紙面は基本8ページ構成

レイアウト・印刷・発送作業は(株)第一印刷に発注

「各部からのお知らせ」を紙面に掲載する手順

- ア) 松本まで掲載希望をメールで連絡していただく。
アドレス E-mail masaetsum@aol.com
- イ) 原稿をメールに添付して松本に送付する。締め切りは偶数月の 10 日。
原稿はワードで作製。レイアウトの必要はなし。文字数は 1 頁あたり 1650 字程度が目安。
- ウ) 松本が第一印刷に原稿を送付、レイアウトを依頼。
- エ) 第一印刷からレイアウト案が P D F ファイルで松本に届く。これを依頼元の担当まで転送する。
- オ) 各部でレイアウト案を確認。修正点があれば松本まで返信する。
ウ) ~ オ) を必要回繰り返し、原稿を完成させる。発行月中旬頃に原稿が完成。

チラシを同封する手順

今年度より、印刷も(株)第一印刷に依頼。

ア) 広報部松本と、(株)第一印刷に、チラシの印刷・封入の希望を連絡して戴く。

チラシのレイアウトを第一印刷に依頼することも可能。

チラシ原稿を第一印刷にメールに添付して送付する。原稿はワードベースの原稿で作製。 締め切りは発行月の 10 日。

請求書・領収書の宛先を第一印刷に連絡。

イ) レイアウトを依頼する場合は、第一印刷とメールでやりとりして作成。費用も確認する。

ウ) 第一印刷で指定の色の用紙に印刷。(印刷枚数は事務局から宛名シールとともに第一印刷に連絡)

エ) ニュースに同封し会員に発送。

オ) 第一印刷から各部代表に請求書が送付される。

カ) 銀行振り込み後、領収書が各部代表に郵送される。

第一資料印刷株式会社 営業部 榎本 純之介

TEL : 03-3267-8211 (代表)

FAX : 03-3267-8222

E-mail enomoto@d-s-p.jp URL <http://www.d-s-p.jp>

宛名シールの印刷について

宛名シールに印刷するデータを、事務局から(株)第一印刷に送付し、宛名シールを印刷・添付し発送まで依頼する。(143号から会員ごとに発送)

データの内容・送付方法は、事務局と第一印刷で連絡済み。

個人情報の保護については(株)第一印刷で対策済み。

4) 対外広報班

学生啓発活動の実施。上半期に県内高校(特に介護課程を持つ高校を中心に)及び医歯薬系予備校の学生を対象に作業療法啓発活動を実施する。

実施内容は先方と相談をしながら。ちらし配布。休憩時間などを持ちいた講義など。

また今までの O T 体験デイ的なイベントを来年 3 月ごろ実施し、早期より早期に O T の啓発を行う。

YOTEC 例年通り参加予定。ブース出展料金は 5 万円

今年度の健康生活展が中止の連絡があり、その予算を回す。

健康生活展中止

関連職種への啓発 ケアマネ、ソーシャルワーカー、訪問看護等の県内の学会へブース出展などできるか検討する。

配布グッズ・新しいパンフレットの作成 A 4 判県士会パンフ作成の検討

イベント時ばらまきグッズとして、マグネット エコバック などを検討中

5) O T の日推進班

9月25日のOTの日に横浜で協会がイベントを行う予定とのこと。今年度は協会のこの事業に出展、協力などを行っていく。おそらく予算が余ると考えられます。その分を対外広報班のOT体験デイ的な早期学生(2年生対象で)啓発イベントに用いる予定です。

現在OT協会事業部、広報部の両方から立案中。情報収集して次回までに対応を決定すること

< 審議事項 >

部員の承認 承認

藤崎 良典 横浜相原病院 広報部員
赤塩 知紗都 横浜相原病院 広報部員
堤 由貴子 北品川病院 ニュース編集班員

【学術部】(中西理事)

< 報告事項 >

1) 講習会開催予定

生涯教育講座【実習指導者養成講座】

「臨床実習指導のコツ」

講師：社会医学技術学院 西野歩先生(OT)

開催日：2010年7月31日

会場：横浜YMCA学院専門学校

受講料：無料

分野別講習会【精神障害分野】

「包括的精神科医療の中でのリハビリテーション」

講師：横浜舞岡病院 院長 加瀬明彦先生

開催日：2010年8月22日

会場：百合丘地域生活支援センター ゆりあす

受講料：2,000円

2) 研究助成事業

公募期間：2010年5月1日～2010年7月31日

ウェブサイトに掲載、ニュース挿入チラシ配布予定。

3) 学術誌発刊事業

近日中に、ウェブサイトに投稿論文募集要項等を掲載予定。

< 審議事項 >

1) 学術誌論文査読委員の承認について 承認

- ・東登志夫 (神奈川県立保健福祉大学)
- ・友利幸之介 (神奈川県立保健福祉大学)
- ・有川真弓 (神奈川県立保健福祉大学)
- ・埜崎都代子 (昭和大学)
- ・渡邊誠 (北里大学)
- ・森田千晶 (国際医療福祉大学小田原キャンパス)
- ・三浦慈子 (国際医療福祉大学小田原キャンパス)
- ・坂本俊夫 (横浜YMCA学院専門学校)
- ・三川年正 (横浜リハビリテーション専門学校)
- ・神保洋平 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
- ・中西浩司 (北里大学東病院)
- ・坂本安令 (横浜市立大学附属病院)
- ・藤田純司 (神奈川病院)
- ・松本政悦 (横浜市総合リハビリテーションセンター)

【ウェブサイト管理委員会】(作田理事)

< 報告事項 >

1) 県士会サイトへの記事の掲載依頼について

以下の記事掲載基準に準じた掲載内容であれば、県士会サイトへの記事の掲載が可能。

下記「記事掲載の形式」および「記事の原稿について」を参照し、ウェブサイト管理委員会へ直接ご依頼、またはご相談下さい。

宛先：ウェブサイト管理委員会(作田)

E-mail: sakuda@nr.showa-u.ac.jp

《記事掲載の形式》

	タイプ1：合同ページ	タイプ2：単独ページ	タイプ3：ブログ形式
概要	講習会情報や会員へのお知らせなど、テーマに沿ったページへ記事を掲載する	単独の専用ページを作成し、記事を随時入れ替え・追加を行う	ブログシステムを活用し、情報を発信する
実例	「講習会・研修会」のページ 「お知らせ」のページ	「新プロ・現職者研修」 「総会・議案書・等」 「会員実態調査」 「OT 協会・生涯教育制度について」 「県士会ニュース・バックナンバー」 「求人情報掲載板」, など	「法人格取得への道」 「お届け！生涯教育制度のあれもこれも」 「福利部の田中さん」 「ウェブ管的知恵袋」
特徴	単発発信の情報に向いている 掲載期限が来ると記事は削除する	複数発信する情報に向いている 記事は永続的に保存も可能、適宜削除も可能	連載もののような高頻度に発信する情報に向いている ブログシステムの設置が完了すればウェブ管を通さず記事の投稿ができる
欠点	掲載作業はウェブ管が行うため情報の発信が若干遅れる 他の情報に埋もれてしまうこともある	掲載作業はウェブ管が行うため情報の発信が若干遅れる	記事投稿の継続性が求められる
掲載依頼	ウェブ管への事前の相談は不要 記事の原稿はメール添付でもメール本文への記入でも可能(作田へ) なお、投稿用フォームメールも設置している(作田が受信する)	専用ページを作る前にはウェブ管との打ち合わせ(メールで可)が必要 専用ページの設置後の記事の掲載は、記事の原稿をメールで作田へ送信する(添付でもメール本文でも可能)	ブログシステムの設置や使い方の説明などで、何度かメールなどで打ち合わせ(メールで可)が必要となる 設置後の記事の掲載はウェブ管を通さずに可能となる

《記事の原稿について》

複雑なレイアウトや文字の装飾を行っている原稿。例えば、フォントの種類を工夫したり、サイズを変えたり、インデントを多用していたり、図形や記号を折り込んでいたり、レイアウトボックスなどでレイアウトを工夫しているような原稿は向いていません。ただし、必要に応じて PDF へ変換しての掲載は可能です。

テキストと写真や単純な図形で構成される原稿は対応が可能．テキストのみが最適！

具体的な掲載例

本文のみ 地域で困ったときのリンク集 http://kana-ot.com/bu/chi_link.htm
本文+写真 コラム「作業療法を語る」 http://kana-ot.com/serial/rc1_1i.htm
本文+表 新プロ・現職者研修 <http://kana-ot.com/bu/gakuju.htm>
PDF 理事会議事録 <http://kana-ot.com/general/giji.htm>
かなり頑張った例(推奨しません) 入会のお誘い http://kana-ot.com/general/c_chief.html

《記事掲載基準》

サイト全体の記事掲載基準

神奈川県作業療法士会公式ウェブサイト(以下, 県士会サイト)では, 以下の1~5のいずれかに該当し, かつ6~8のすべてに該当する記事を掲載します.

1. 神奈川県作業療法士会員に利益が生じるもの
2. 神奈川県作業療法士会を広く広報するもの
3. 作業療法全般を広く広報するもの
4. 神奈川県民の健康増進に寄与するもの
5. 神奈川県作業療法士会理事会(以下, 理事会)または事務局長が掲載を許可したもの
6. 著作権などの他者の権利や利益を侵害していないもの
7. 誹謗・中傷的表現が含まれていないもの
8. 個人情報取り扱いに倫理的配慮があるもの

ただし, これに限らず, 理事会, 事務局長, ウェブサイト管理委員会が掲載に不適切と判断した場合は, 記事を削除, または掲載をご遠慮いただくことがありますのでご了承下さい.

「講習会・研修会」ページの記事掲載基準

「講習会・研修会」ページでは県士会サイト掲載基準に加え, 以下のいずれか一つの条件にあてはまるものを掲載します.

1. 神奈川県作業療法士会が主催する講習会・研修会・勉強会等である
 2. 神奈川県内で開催される講習会・研修会・勉強会等である
 3. 神奈川県作業療法士会員または神奈川県民が参加できる講習会・研修会・勉強会等である
- ただし, 主催者の営利目的の割合が大きいと判断された講習会・研修会・勉強会等は掲載を遠慮いただく場合がありますのでご了承下さい。(平成17年7月12日 理事会承認)

<検討事項>

1) 部員の承認 承認

- ・大澤彩(昭和大学保健医療学部)
- ・平澤友代(新戸塚病院)

2) 原稿の依頼

各部・各委員会のページの更新依頼

- ・活動内容の紹介・・・必要に応じて書き換えてください
 - ・H22年度活動計画・・・今年度の内容へ書き換えてください
 - ・構成部員・委員・・・必要に応じて書き換えてください
 - ・部長・委員長からのひと言・・・必要に応じて書き換えてください
- 締め切り: 誠に勝手ながら締め切りを6月7日まで
原稿は作田 < sakuda@nr.showa-u.ac.jp > までメールでお願いします.

「県士会長のあいさつ」のページの書き換え

内容: 本文(500~1000文字程度)

「県士会活動」のページのリニューアル(<http://kana-ot.com/general/katudo.htm>)

「組織の概要」, 「組織図」, 「理事・役員リスト」を掲載している

「組織図」と「理事・役員リスト」の更新は 4/29 に更新済み

「組織の概要」の文面が法人化にあたり、そぐわなくなっている。記事の更新が必要

2) OT アイデア記事公募について(案) 承認

〔ねらい〕発表の場を提供する。各自が持っている臨床のアイデアを、広く皆で共有する。

〔公募対象〕オリジナル自助具, オリジナル訓練器具(Jブランド), その他のアイデア等(OT Tips)

〔公募方法〕県士会サイト(常時)・県士会ニュース(適宜)にて告知する。応募は県士会サイトに設置する予定の入力フォームからオンラインにて受け付ける。

〔選考条件〕オリジナルのアイデアであること, 県士会サイトの記事掲載基準に準じていること、作業療法士および利用者にとって有意義であること, 著作権等に抵触しないこと、などを条件として、ウェブ管で選考を行う。

【企画調整委員会】(浅井理事)

<報告事項>

各部・委員会は、上半期は 9 月 30 日、下半期は 23 年 3 月 31 日までに、事業計画表に事業経過、達成度を記載しておく。

<審議事項>

23 年度は選挙を控えているので準備もはじめていきたい。

県士会のブロック化・代議員制についても進めていくことを提案。次回以降また検討。

以上をもって審議議案はすべて終了。以下、議事録署名人が確認し記名押印する。

会議終了時間 21 時 00 分

次回の理事会開催日時 平成 22 年 7 月 15 日(木) 19 時より

開催場所 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所
〒231-0011
神奈川県横浜市中区太田町 4 - 45 第一国際ビル 301
TEL / FAX 045-663-5997

議事録署名人	議長	印
	監事	印
	理事	印